

ハートコミュニケーション 栄八通信

第8号

14710 月末発行



武雄市議会議員
発行者 宮本栄八
武雄町野間 TEL・FAX23-0750
発行部数 11,200部

鉄道高架・北部区画整理 県原田土木部長の 分割案提示で動く！ 9年度都市計画決定か

「今回は、オオカミ少年ではなさそうだ。」

【これまでの経緯】

- S42年 市議会で高架実現の決議
- S55年 県・市で連立予備調査
- S57年 鉄道高架促進期成会発足
- S60年 長崎新幹線ルート発表
- S61年 関係地区説明会(25ha)
- S62年 大蔵省内示・事業採択
- S62年 事業採択の補助金返納(10地区に延期説明)
- JR九州新会社設立
- H3年 長崎新幹線井本短縮案
- H5年 縮小案作成(23ha)
- H7年 駅移転案作成(18ha)
- H8年 分割実施案作成(8ha)

結局、昭和六十二年に、二五ha事業費一六八億円、国の採択を受けたが、市の財政難を理由に予算を返納し続けているのが現状。「身のたけに合った計画」をと、平成五年に下西山近辺をはずし二三ha案へ、しかし、詳細に調査したところ、事業費が三〇〇億円と反対に高くなっていった。そこで、平成七年に、東側の永松と西の竹下町を区画整理からはずし、市役所から清本跡地まで線路の南側を区画に加え、一八haの駅と市役所と変える、駅移転縮小案が作られた。事業費は二六二億円であった。しかし、駅移転費の全額を市が負担せねばならないことや、駅を西に移せば線路が急カーブになることから市長も、最終的には断念。平成八年今回の分割実施案が出て来た。

【原田部長の影響甚大 良楽口に苦けれど 行いに利あり】

私も委員である高架北部市街地調査特別委員会は、最少の支出で市街地にインパクトを授ける、駅移転案を検討していたが、県からの賛同を得られないので次の案の必要性を感じていた。一方、市長は市の百年の大計として堅持すると表明していた。

そこで、特別委員会は、建設省から来ていて、技術的にも詳しく以前から武雄のまちづくりにも発言されていた、県原田土木部長と会談を行なった。はつきりいって私はあまり期待してなかった。部長は、非公式会談を強調するかのよう、応接セットは五人しか座れないのに、市議八人で私は丸イス、事務局員二名、県職員数人は立っての会議であった。

部長は、最初二三分くだらない世間話をされていたが、その後、急に武雄市政を批判する爆弾発言の集中砲火で、私の目の前のベテラン議員は顔面蒼白になっていた。また運わるく、立って話を聞いていた事務局員が背中、室の電気スイッチを押してしまい、暗くなったりして、いっそう重い雰囲気になった。部長は「武雄市は佐賀県と思っていない」とか「新聞に出た、駅移転案も実施しない為の新しい口実と思った」とか「市長は県に来て、二三分話して帰っただけ」とか「武雄市だ



(前) 原田土木部長

けなげ下水道に取りくまないのか。など多くの武雄バッシング状態で会談は終わった。

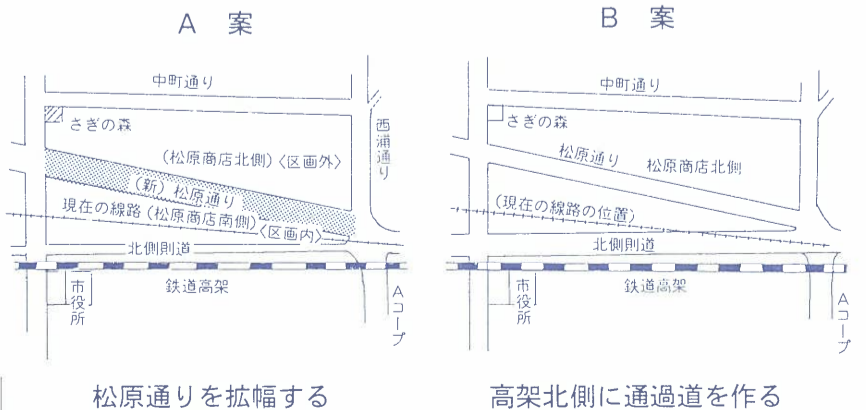
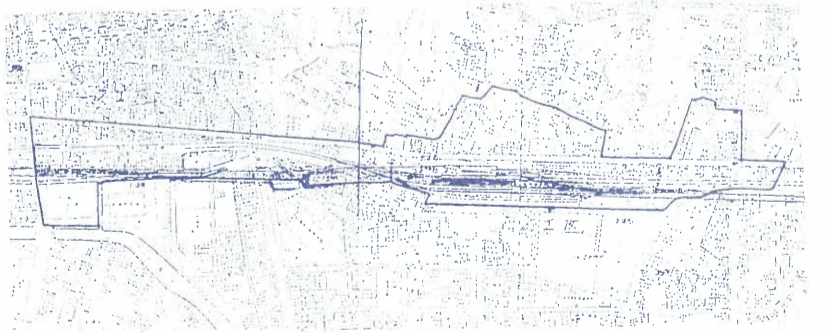
その後、特別委員会で、「いくら部長でも、あまりにも無礼すぎる、エリート意識でやってもらったではこまる。正式に抗議すべきだ」との意見が出た。私は、自民若手と共産議員の意見が合っているのを見て、正直いっておどろいた。ところで、私は、この部長に対し、逆に尊敬の念さえもった。それは、論点の的を得ていることと、私は、武雄を興奮させようという叱咤激励として素直に感じたので、弁護をする意見を言った。結局、特別委員会は部長に抗議しなかったわけだが、一歩間違えれば対立関係になったかも知れない原田部長が、武雄市に対して今までだれでもできなかった、実現可能な八ha分割実施案を具体的に提示され、急に武雄市の前の、ベルリンの壁が崩れる可能性が生まれたわけである。

8ヘクタール 分割実施案の内容

元案の縮小で三〇〇億円、駅移転案でも二六二億円、今回の分割案は一七〇億円程度の総額であり市の負担も三五億円とし尿処理場の見積りより少ない金額だ。

- ① 東は花鳥踏切から廿久まで、西は松原踏切から上西山までは、県が直接買収して、高架にしていく。
- ② 松原のおれんち通りより北は区画整理から除外する。
- ③ 新幹線の用地は保有確保しな

8 ha 分割実施案の範囲



金がないので、工区を分割して順次取り組むという形をとって承認を受けたい考えだ。

【現在の市の動き】

市は、三月の市長演説で、平成九年度に、国の計画変更承認を受けて、都市計画決定をしたいと、明言された。

都市計画決定というのは、その範囲の線引きに入った土地は、建築等の制限をされ、市民にとっては、私権を制限されるということと、市長が武雄の将来を決する大決断をしたことを意味する。しかし、現在、国に計画案変更承認を受ける為、分割案に添付する武雄の街づくりプランも、県が主体に作成している状況だ。

また、市民から、市に要望のあった、市独自の商業計画や街づくり計画の早期作成についても、商工観光課や企画情報課が、鉢巻しめて、計画を作っている雰囲気はなく、反応はにぶい！

市議会の高架の特別委員会 街づくり意見交換会を開く

新聞でも報道され、評価は高かった。武雄市議会でも初めてではないかと。しかし、これも簡単にはできなかったわけではない。

私が、この特別委員会に入ったころ、高架を要望した十五年前と現在とは状況も市民の意識も変化している。もう一度、商業者や市民から意見を聞いた方がよいと言っていたが、しかし、「情報が一歩すすむ」とか、「議員が市民の代表だ。市民の意見ばかり聞いていたら、衆愚政治になる。」

さらに、「交渉事は途中をあまり明かさないと、賛同してもらえなかった。また西日本新聞に、駅移転案が決定もしていない時に、決定した様に書かれたこともあって、新聞記者の委員会傍聴についても、委員

会での議論の内容によって委員長が許可するとか、委員会終了後、委員長が、内容を整理して報告するとかされた。しかし、新聞記者から何で公開されないのかと度重ねて申し出があったので最近では許可された。

話をもちますが、意見交換会ができたのは分割案AとBを議員が自らの考えで選んで市民の反発を受けるより、基本的には大差ない二案を市民に聞いて、賛同の多い方を推進したいとの考えもあつたのでは？

だから意見交換会の初めに、次のA・B・C(Bと類似)案について、ご意見下さいと司会者が言つたのではないかと。しかし、結果としては、幅広い意見が多く出、熱気のある会議となつた。

街づくり意見交換会での市民の意見は……

前述した意見交換会が出た論旨を十点に集約してみた。

- ①市の総合的街づくりの中で、高架区画整理を考へるべきだ
- ②南部に大型店が多く進出するなか、もはや必要ないのでは
- ③武雄温泉への道路等、必要性の高い所を早急に、高架は後で
- ④商店街をどうするのか決まっていないうのでまず計画を
- ⑤商店街活性化の為にA案が良
- ⑥高架は、北側が日かげになるなどデメリットもある。
- ⑦高架北側はイメージが暗いと言われるが、うまく活用すれば良い
- ⑧高架も良いが、その時には駐車場も十分に確保すべき
- ⑨北部を商業でなく観光立脚へ
- ⑩こんな会は行政ですべきだ

高架・区画整理は私の考え

【分割案への賛否】

私は、議員になってからずっと高架区画をやるならやる、やらんならやらん、数年見合わせるなら、それで、その間をどうするかを明確にしてほしいと言つて来た。前回の駅移転案は、せっかく元案を大幅に縮小したのに、市役所

駅を動かさない次の案を早く考えてほしいと個人的に要望していた。そんな矢先、県の原田土木部長の尽力による分割実施案が出て来て、今までにいく具体化した。

宮本君、あなたは高架・区画整理に賛成ね、反対ねと聞かれれば、この分割案に限っては賛成である。全く、高架が不要として他の事業を選択するならば別だが、高架を望んでいるなら、この案しかない。

反対にもし今回、取り組まないとする、どういふ問題点があるかと言ふと

【高架しないとどうなる】
○第一に、区画整理予定地区の県道は現在区画整理に合わせるとして一切改良できない状態になっている。

○第二に、今回知つたのだが、花鳥踏切や松原踏切は、平面改良ができないと国の法律に定められた踏切らしい。

○県内では二ヶ所指定してあり、それが武雄の前述の二ヶ所、もし踏切を改良するならば、地下か、線路の上に道路を作らねばならずそれを考えれば、鉄道を高架した

が得策である。
○第三に、もしも長崎新幹線が武雄に来た場合、新幹線は高架で、すぐ横に佐世保線が平面で走る妙な形になる。

【武雄市政運営と高架事業】
武雄市が下水道に取り組みけない理由として、区画整理の範囲がはっきりしないから、計画ができないと答えられ、そこで、川良など区画整理地区と離れている所から取りくめばと言ふと、高架区画の費用がいくらかになるか判らないので、下水道までは考えられないとの毎回の議会答弁である。このように高架区画が、武雄市の財政計画の柱となつていて、これが連鎖的に他の事業を不確定にしている状況

を脱出するには高架区画事業の結

論を急ぐ必要がある。
一方、武雄町以外の周辺部の人から見れば、三五億もかけて、武雄町だけが優遇されていけないか、都市計画税を取つてすべきなど、行政バランスの問題も整理する必要がある。

【分割案実施への評価】
新幹線の動向も気にせず、中心部の約1kmの中で四本本の主要道路が高架の恩恵を受ける都市はあまりないと思う。また、東西は県が買収してくれるなど、費用も少ない。私から言わせてもらえば、「ばたもちを口の前までもつて来てもらつては様なもの。」と思つている。市はこのチャンスをもがさないように、きっちり作業を進めてほしい。まずは、市民から意見の多かつた、商業と街づくりの位置づけを早急にすべきと思う。

原田部長が今度、建設省にもどつて、現在有利なのか不利なのか解らないが、今まで市長が問題点としていた、財政・新幹線の問題点もないわけだから、今回が実現の最後の機会と考へて取り組むべきと思う。

【期成会の再開を望む】
また、昭和五十七年、市内各戸から寄付を集めて、鉄道高架促進期成会が活動していたが、市の方針がはっきりしないので、活動が十年間停止して、事務局の青年会議所に現在、まだ百万円あまり残金の残つた通帳が寝ていると聞く、これも、今回有効に使用してほしいと思う。

【分割案は後が大事】
最後に、今回の分割案というのは、高架・区画整理と言ふものは、高架区画整理を極端にせばめて区画整理の範囲を極端にせばめている関係上、見方によっては、鉄道高架事業のみの事業とも見れる。これを、骨組みと見れば、肉づきとなる区画整理、動脈となる主要道の整備も少し遅れることがあつても、同時に考へ実施しないと意

味がない。また、そう考へると、から、二案の選択に手間取つてチャ結局A案もB案も骨組みの一種だ

武雄市議会データブック

委員会	視察先	視察内容
総務常任委員会	雄武町・札幌市	産業観光まつり「サッポロさとらんど」整備事業
産業常任委員会	能代市・男鹿市	「森林浴の森」の整備事業 観光行政
文教厚生常任委員	井原市・境港市	ほかし処理によるゴミ減量 海とくらしの史料館
建設常任委員会	白石市・一関市	都市づくり事業、(白石山緑地公園事業)(大町地主町地区十地区区画整理事業)(釣山公園事業)
議会運営委員会	長浜市 近江八幡市	議会運営について 生活排水対策
特別委員会	東京	陳情 建設省
特別委員会	東京	陳情 厚生省
特別委員会	春日井市・岐阜市	鉄道高架事業 区画整理事業
公明	津久見市	固形燃料化施設について
平成クラブ 政策研究会	下松市	地域商業振興施策について
政和クラブ	松原市・大阪市	市民病院の運営状況 大阪市立科学館
武友クラブ	耶馬溪町 湯布院町	サイクリングセンター 湯布院町地ビール工場
フォーラム武雄	大洲市	市立大洲病院・家族旅行村 駅前共同店舗
海外	西村・吉川 福田 議員	ドイツ オーストリア
青少年育成(3期以上)		

年度	回数												議 長											
	2	8	4	0	1	1	8	3	0	8	8	4		8	4	2	4	3	5	8	2	8	4	4
8年度																								
7年度																								

会派	議員名	住所
政和クラブ	原 司	朝日
政和クラブ	松尾初秋	朝日
政和クラブ	長谷信行	朝日
政和クラブ	吉原武藤	朝日
政和クラブ	山北正高	朝日
政和クラブ	清水 修	朝日
政和クラブ	重松 彰	朝日
政和クラブ	富永起雄	朝日
政和クラブ	笠原征夫	朝日
政和クラブ	弘田猪一郎	朝日
政和クラブ	岩永武義	朝日
政和クラブ	藤山 馨	朝日
政和クラブ	宮本栄八	朝日
政和クラブ	井手 豊	朝日
政和クラブ	牟田勝浩	朝日
政和クラブ	高木佐一郎	朝日
政和クラブ	福田昭義	朝日
政和クラブ	谷口攝久	朝日
政和クラブ	大坪勇郎	朝日
政和クラブ	西村輝治	朝日
政和クラブ	吉川幸雄	朝日
政和クラブ	森 謙治	朝日
政和クラブ	大宅 壮	朝日
政和クラブ	平野邦夫	朝日
政和クラブ	早田道也	朝日

栄八通信が選んだ武雄市議会
輝け八年度大賞
受賞者は七年と同じため記載を上げると、関連議論が活発になる。省略します。議会は、誰かが取り、その点、大坪氏の功績は大。

3月定例議会 3/5~3/26

私の一般質問

1 武雄市の商業計画はどうか？

早急に、新たな商業街づくり計画が必要だ！

マスタープランでは、北部を専門店街、南部を物流店街と位置づけ、それらに客を回遊させるとした位置づけがされていた。南部は区画整理等の基盤整備も済み、あとは北部の区画整理を市が行なう時に、北部の近代化がされる予定であったが、選挙の前になると高架区画整理の話が何回も出るが市の決断の単なる先のばしで、契機を失った状況になっていた。

2 老人福祉計画期間の残り三年何をやる？

鹿島市のように年次計画を明確にすべき！

私は、これまで、市の財政を気づかなくて、民間での設置可能な、老人保健施設が県内七市の内で、武雄市のみ無いことから、市長のトップセールスを提案して来た。しかし、市の反応はにぶい。また、もう一方の老人の在宅支援についても、ほとんど目標を達成していない。鹿島市においては、全てができないにしても、実施可能な事業を明確にし、各年ごとの年次計画を立て整備しているが、武雄市も同様にすべきだ。

3 行政改革は予定どうりに進んでいるか？

できなかった理由と中間報告をすべき！

武雄市の行革は、期間を平成七年度から平成十一年度と五年間の長期に渡って、特に八年度は、公立保育所や杵島向陽園や文化会館の管理運営の基本計画の策定。各種補助金の見直し、また、庁議等の最高意思決定機関の再編検討など年度を定められた重要な項目が多く、すべてが順調にいったいとは思わない。八年度の行革実施報告は近日中に出されると思うが、ただ実施できなかったかとも一年検討するなど、単に先送りになる可能性も十分考えられるので、実施できなかった項目は、その理由なり、審議の状況を公表すべきだ。

教会は、百年たった今でも建設が進められている。とし、武雄市の夢として二〇〇mを目指したい。

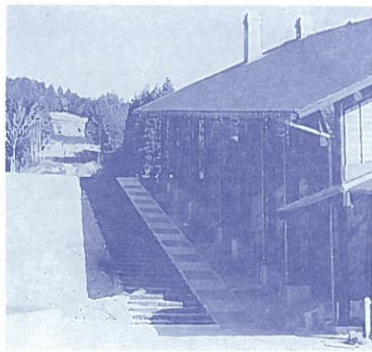
2 市長が熱弁した古陶磁博物館はどうなった？

私が登壇建設を、最初から真向反対しなかったのは、一番始めに産業委員会、登壇建設の話を市長がされた時、黒牟田地区の一枚の地図を前に、約三〇分間に渡り、それらのルネサンスをする主旨の熱弁をされた。また、新聞に、登壇と古陶磁博物館と周辺整備の三つで三億円という発表であった。私は、工房と併設して博物館とはいなくても、資料館はできると思っていたが、それも無く、現在来訪者に、市長の意図した武雄古陶磁の理解を深める施設とならないが、作る気はあるか。

【回答主旨】作りたいたと考えている。



当時もらった一枚の地図



造成されているので延長可能では

栄八の緊急提言コーナー

飛龍窯 希望の二〇〇mへの道

飛龍窯を市長は、改めて、何年かかっても、二百米を目指す。それが武雄市民の夢としたいとの発言をされた。

しかし、多くの市民は、「市長は口だけで、できるもんね……」と本来夢をもつ話が、反対に、失望やあきらめの象徴となっている。また、議員も本心から二百米になると信じている人は少ないし、職員からも、延長の夢を語られることもない。また同僚の議員から、「もう言いやんな、いらん市の銭んば使わばい。」とか、ガウディの教会は、少しづつ着実に建設しているから、未完の教会だが、武雄の飛龍窯は完成式もしたし、登壇検討委員会もその後開かれてないよう、本気で目標に向う意志を感じないと言う。

そこで、失望の二百米を希望の二百米に変える道であるが、前述の批判を裏返せば答になる。

① 二百米にする中・短期計画を示す
② 飛龍窯の延長を年一mでも伸ばす
③ 延長の費用は、市費を使わない
以上の三点をすれば、市民も納得するし、夢の二百米になる。

一例として、昨年飛龍窯で、ど素人は、傘立て土管を大量に焼いたが、そう何個もいらないので、今回から、一部を登壇延長の為にレンガを焼いて、それで一mでも二mでも毎年延長すれば、夢がいただける。

武雄の大砲を鋳造した反射炉のレンガも登壇窯で焼かれたと聞くので、まんざら無理でないと思う。自分で焼かない人にも個人の名前や手形を入れたレンガを買って寄贈してもらえば量も増すと思うし、なんとかなるのでは！

今市議会 論戦場の黙示録

今回は、私と他議員の質問の記載から、今議会全体としての、特徴や動向を伝える事を試みた！

採決五時を過ぎて延長前代未聞
原議長の話によれば、議会最終日の議案採決の日は、覚えていない限りでは、午前中ほとんど終了し、終業時間の五時を超えた記憶がないと言う。それだけ、議会が活性化して来ているのでは！

橋町の議員の逆襲

昨年、合計して一回の一般質問であった。今三月議会は、Wで質問に立ってあった。主題は、おつぼ山や整備や認定農業者。そう言えば、最近武雄テレビが橋町に接続し、さらに市議会が近くになったと聞く。

出勤簿で一時押し問答

S議員 武雄市役所には、職員の出勤簿がない。遅刻や欠勤や残業など、それで十分の把握ができない。民間では考えられない！

市長 以前あったが、形式的で意味がない。職員の把握は課長がしている。との基本論で論戦が始まった。S議員も、課長が休みの時は、職員の昇格の時の活用は？と細かく追いつむが、市長も譲らず、それだけで一時間経過した。

前代未聞！
質問後、S氏には、市民から賞賛の電話が多かったと聞く。一部議員からは、「あがん風な、質問のしかたが、本当に良からうか？」との雑談も聞いた。

しかし、後日、市長は、行革本部で、「職員の弁護はした、出勤簿は導入しないが、朝のミーティングをするように」との指示で、S氏の質問形態の勝利か！



マスタープランではこう

年度	平成7年度	平成8年度	平成9年度	平成10年度	平成11年度
総額	1,200	1,500	1,800	2,100	2,400
国庫補助	800	1,000	1,200	1,400	1,600
県補助	200	250	300	350	400
市負担	200	250	300	350	400

鹿島市年次表

【解説】
つい最近まで、商業ビジョンは変えなくて十分と課長は言っていたので、本当に実施されるか疑問？

【回答主旨】
「必要性はあるので取りくむ」
現在、各サービスの未整備が多いので、課内で十分に検討したい。また、介護保険のサービスで不利や支障のないようにしたい。

【回答主旨】
必要計画をきっちり立て、大型事業に遠慮することなく、堂々と市長に予算要求すべきだ！

4 竹古場キルンの森公園の今後の活用は？

① 登壇を二〇〇mにする
具体的な方針を示せ！

市長は、武雄テレビの新春放談で、飛龍窯を現在の二二三mから、二〇〇mにするとの主旨の発言をされていた。私は、市民の方から市長は、テレビで予算の話はしてなかったが、二〇〇mにする予算はどうか？というのか？と聞かされた。今回、新年度予算を見た方はとまどわれている？

【回答主旨】
スペインのガウディの設計した

し尿処理場の見積り武雄市は どんぶり 井勘定の大盛サービズ?

新年度予算の議案の審議でやはり一番中心になったのは、武雄山内衛生処理組合への負担金からむ処理場改築の問題であった。私が以前より、見積り額と入札額の違いを指摘していたが、それも問題となったが、それ以前の問題が出て来た。それは、鹿島市が一〇〇kLの見積りが四億二千万円だったのに対し、武雄市の今回見積りが九八kLと小さい処理能力施設なのに、四億九千万円と逆に高く、入札以前の見積りの取り方も、ずさんでないかとの追求があった。課長は、処理場は専門的であるので、業者から集めた見積りを平均して出した結果と言う。そんな、井勘定で良いのかとの追求にも返答なし。鹿島で一四億で落札したN社についても、九州進出の為のダンピング的な落札であるとの認識の答弁をされていた。

（三重県） H8(1)
久居地区広域衛生施設組合
(140kL/日 高負荷膜)
予算 [約] 4,200

業者名	入札(百万円)
浅野工事	2,200
アタカ	1,860
荏原	5,500
クボタ	1,950
栗田	2,850
住友重機械SHI	1,960
日本鋼管 NKK	1,950
三菱化工機	2,278
三菱重工 MHI	1,850

最近入手した入札結果

市長発言訂正合計二回 東部開発だれのため

今議会の市長演告に、東部地区を平成九年度、整備構想に掲げた商業核・情報流通機能・教育機能等のメニューの主体となる進出企業の取りまとめを行ない、農振除外をめざして行く主旨の発言があった。私は一般質問で、以前、市長は、処理場の建て替えと、バッテリーングしない。それは、東部開発が二十年先の事との説明されたとの必要性も疑問。

行革の目玉

部長制の考え方

六月議会には、提出するという部長制導入というのは、現在、市は課長が各種業務のトップであるが、その上に四部長を置き、さらに市役所の組織を見直す。簡単にいえば、第一に、各課の連携が必要な時代に入った。たと

武雄市の予算はバブル時代か?

近年の経済不況の中、県内他市は、緊縮予算で前年度より少し減少する中、武雄市は、昨年度の約一二〇億円から、今年度、一三〇億円の予算で、高度経済成長的な七〇代の伸びである。武雄市は意外と景気いいんだなと思いきや、原因を調べて見ると、最大の要因は、次の二つであった。

大蔵省と政府与党にだまされた? 地方消費税一%

消費税が五%になった、三%の時、福祉の充実や行政の見直しに約束されたが、そんな実感はない。そこで、何ら有効な手を打たず、五%への移行について、私は反対であった。しかし、唯一、期待できたのは、その五%の中の一%が地方消費税として自治体に行くとのことだった。地方分権を進める為には、地方への財源移譲の必要性を感じていた。今回、武雄市における税率改正による影響を財政課で算出された

ちよつと気になる。

☆アーティスト・イン・レジデンス事業

『歴史と芸術文化の交流』事業と副題が付いているが、簡単に言えば、陶芸作家を含む国外のアーティストを、武雄市に招待して、創作活動や交流事業を展開するという。事業主体は、市や県で実行委員会を作って、行なうが、一般市民との交流が十分できる事を望む。☆地域スポーツソリフレッシユ事業

カタカナ事業の内容

ツ施設を整備するが、約半額は国から交付税で補填されるので、なかなか予算の付かない武雄の体育施設に急に多額の三ヶ年予算が付いた。九年度はテニスコートと球場の整備だが、十年度は弓道場。十一年度はソフト専用球場整備。



〔柏岳開発〕 生活環境保全林 県は4億円投入か?

佐賀県の農林事務所が取り組むが、市は、頂上までの道路の用地の取得と立木の補償のみを七千万円程度で行なう。この柏岳は、ふるさと創生二億円の時、一部頂上近くを市が購入し、キャンプ場など、いわゆる「柏岳開発構想」など作られていたが、その後の動きはなかった。同時に、川良区からは、ふもとに住居地に災害をもたらすことのないようにとの主旨の申し入れもあってきた。聞くところでは、今回、県が多額の支出はするものの公園的意味あいをもつ保全林事業の整備内容については、市や地元という方針と聞く。総額四億円が

行革のバロメーター? 交際費と食料費

行政を運営するのに、外部との交際や会合をもつことは必要である。市長や議長は交際費があり、市職員は各課に食料費をもっている。武雄と鹿島の対比表を作ったが、市長交際費は武雄市が、百万円多く、別に競争にも百万円ある。一方、鹿島市は、職員の食料費が多い。今回は金額の対比だが、今回は、内容も調べたい。

食料費	議長	市長	年	市
-	190	570	7年	武雄市
580	171	513	8年	
↓	↓	↓		
290	170	500	9年	武雄市
-	170	490	7年	鹿島市
823	150	420	8年	
↓	↓	↓		
723	145	400	9年	鹿島市

編集後記と 今後のプラン

今回は、新年度予算などの件もあり、通信作りは楽かなと甘く考えていたが、予算を全体的に個人の新聞で網羅することは無理と原稿枚数書いた所判り、ガーンときたが、どうにか発行ができた。ところで、私がよく質問していた、ゴミ問題では、リサイクル法に向けて、「のんびら」とスタートした。第一回目の収集日には数ヶ所見て回ろうと思っている。話は変わるが、武雄病院について書いてないが、厚生省への五〇床増床と譲渡前の整備の陳情は、反応が悪かったという。今回の市長演告では、早く開設したいとあるが具体的な予算などはない状況。また、今予算には、来年三月の市長や市議補選などの予算が計上されている。今年度の年だ。

